

東京の住宅政策の現状と課題

【目標】	【取り組む施策】	【現状と主な取組】	【課題例】	
目標1 安全で安心な住宅・住宅市街地の形成	災害に強い住宅・住宅市街地	【現状】 ・住宅の耐震化率：約81%(2010年度末現在) ・木造住宅密集地域：約16,000ha 【取組】 ・耐震化の取組 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例 耐震改修促進計画に基づく施策の実施 ・木造住宅密集地域の防災性向上のための取組 木密地域不燃化10年プロジェクト 「新たな防火規制」の取組 ・建築物における液状化対策	○都民に対する耐震化、不燃化等に関する意識啓発 ○従前居住者の居住の安定確保 ○耐震改修等に係る支援策の充実	資料-9-1
	エネルギー自立型で低炭素な住宅・住宅市街地	【現状】 ・温室効果ガス排出量：2011年度53.7百万トン(2000年度比で13.2%の減) ・CO2排出量の部門別では、家庭部門において3.3%増加 ・震災時の停電などの懸念：東日本大震災では電力供給が停止 【取組】 ・「東京ソーラー屋根台帳」の公開 ・東京都LCP住宅登録・閲覧制度	○住宅の長寿命化の促進 ○省エネ化の促進 ○再生可能エネルギーの利用促進 ○環境負荷の低減に資する住宅供給の促進 ○多摩産材の活用	
	良好な住環境に配慮したまちづくり	【現状】 ・地区計画の策定 832地区(平成25年3月末現在) 【取組】 ・良好な住環境形成に資する取組 地区計画(緑化の確保、まちなみを考慮した景観づくり など)の策定 ・都市居住再生促進事業の実施	○良好な住環境向上のための取組の推進 ○住環境向上のための取組実施団体との連携 ○緑化の推進(公園、沿道緑化など)	
目標3 マンションの管理適正化・再生	マンション管理の適正化、マンション再生の誘導	【現状】 ・都内の分譲マンションは約165万戸あり、住宅ストックの約4分の1 ・そのうち、旧耐震基準は約36万戸 ・今後、老朽化したマンションが急増の見込み 【取組】 ・マンション実態調査 ・各種セミナーの実施、アドバイザー派遣事業、マンション啓発隊 ・マンション改良工事助成、耐震化や建替えに係る助成事業	○管理の適正化の推進 ○耐震化施策の推進 ○建替え等の円滑化	資料-9-2
目標4 公共住宅ストックの有効活用	公共住宅ストックの有効活用	【現状】 ・公共住宅のストック：公的住宅 約55万戸(うち、都営住宅約26万戸) 【取組】 ・都営住宅等の計画的な建替え ・都営住宅等の用地を活用したまちづくりの実施(民間活用事業等)	○都営住宅等の計画的な修繕・改修の推進 ○都営住宅用地を活用したまちづくりの展開 ○福祉施設との連携の推進(高齢者施設等の整備) ○公社住宅・機構住宅の建替え等との連携	
目標5 郊外住宅市街地等の活性化	郊外住宅市街地等の活性化	【現状】 ・多摩部において住民の少子高齢化と建物の老朽化が進行 【取組】 ・諏訪二丁目団地の建替え ・多摩ニュータウン再生検討会議	○住宅団地の再生・再編 ○多様な都市機能を導入するための土地利用の誘導 ○空き家の有効活用	資料-9-3